

# 本書の見方

期中によく使われる日常の仕訳は「日常」、決算の時によく使われる仕訳は「決算」として示しています。

日常

取引をタイトルとして示しています。

## 2 現金で切手を購入した

### 取引

管理業務で使用する切手500円を現金で購入した。

### 仕訳

借方		貸方	
管理費-通信運搬費(一般)	500	現金(B/S)	500

取引に対する仕訳を示しています。

仕訳の理解を深めるために、解説を記載しています。

### 解説

切手の購入は「通信運搬費」で処理をします。  
切手の購入額に重要性が乏しい場合(100ページ コラム「重要性の原則について」参照)には、購入時に全額費用処理することが認められています。

取引に対する消費税区分を示しています。  
必要に応じて、補足説明を付しています。なお、本例では課税仕入となるのは切手の購入です。現金や預金など課税の対象にならない科目は省略しています。

### 消費税

切手の購入は、課税仕入となります。

仕訳に関してより理解を深めていただきたい事項をわかりやすく、やさしく記載しています。



## 仮払金、仮受金、現金過不足勘定について

「仮払金」は、現金等の支出の事実はあるが、最終的な金額や相手勘定が未確定の場合に、支出の事実を一時的に処理しておく科目をいいます。

「仮受金」は、現金等の受入の事実はあるが、最終的な金額や相手勘定が未確定の場合に、受入の事実を一時的に処理しておく科目をいいます。

「現金過不足」は、現金の帳簿の残高と実際有高が一致しない場合に、不一致額を一時的に処理しておく科目をいいます。

「仮払金」「仮受金」および「現金過不足」勘定は、あくまでも一時的な仮勘定であるため、原則として、決算書においては「仮払金」残高、「仮受金」残高、「現金過不足」残高がゼロになるように年度内に精算するほうがよいでしょう。

仕訳に関して、より詳細に知っていただくための解説コーナーです。

詳細解説

## 有価証券の貸借対照表価額について

### 1. 有価証券の保有目的と貸借対照表価額について

有価証券は、その保有目的により①満期保有目的の債券、②子会社株式及び関連会社株式、③満期保有目的の債券ならびに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券（その他有価証券）に区分され、有価証券の貸借対照表価額は、保有目的の区分により異なります。